**第５４回観察会　2007年９月27日(木) 　　　　　　　　12:05～12:55　晴れのち曇り**

**テーマ『京大植物園花の地図を作ろうPartII』**

**☆ガイドレポート**

今回の観察会は、「花と実の地図を作ろう」という題で行われました。これは、いつもの講義形式の観察会とは違い、参加者みんなで植物園の中に咲いている花などを探し、どこにどんな植物があるのかを地図に描いていこうという企画です。第一回を春の終わりに企画し、今回が２回目でした。

今年は涼しくなるのがとても遅れ、観察会の当日も、まだ汗ばむような気配の一日でした。そのせいなのか・・・参加者は12名だけ。スタッフの方が多いのではないか、というちょっと寂しい会でした。第一回が楽しくなかったのかなあ、とやや不安にかられながら、観察会が始まりました。

一同で植物園を四半周ほど回り、その後で４つの班に分かれます。この班ごとに、担当場所を歩き回り、花と、今回は秋ですので実も探すという作業でした。花や実を見つけると、その色のシールを地図に貼り、植物の名前を書き込んでいきます。約40分ほど探した後、各班の地図を張り合わせ、一枚の大きな植物園の花・実地図ができあがりました。

今回の特徴は、果実がたくさん見つかったことです。まあこれは考えてみれば不思議ではありません。花は一年の一時期しか咲きませんが、実は熟して離れるまで、割合と長く枝や茎にとどまっています。今回の調査では、夏から秋にかけて実った植物の総決算のような地図ができたわけです。

特に目を惹いたのは、甘い香りを漂わせながらあちこちに大量に落ちているチャンチンモドキの山吹色の実。また、ひっそりとですが、ネコノチチと呼ばれる木に小さな実が熟していました（なぜこんな名前なのかは、ぜひ実物を見て確かめてください）。花で見ごたえがあったのは、植物園の中ほどで紙ふぶきのように散り始めていたオオモクゲンジの黄色い花でした。

今回は12名と心細くなるような参加者の数でしたが、うまくしたもので、各班に一人はかならず植物に詳しい人がいて、春以上に綿密な地図が出来上がりました。また、今回は最後に、植物園の実と鳥の関係を研究されている大学院生の講義もあり、会としてはひじょうに充実していたように思います。今後もこの地図作りを続けるかどうかは、参加者の方々の要望にもよるでしょうが、講師の一人として参加させてもらった私にとっては、講師から参加者への一方向ではない形式と、その季節季節の植物園の全貌を心に刻むことができる、とても貴重な機会に思えました。

ガイド：西田佐知子

2回目の地図作りでは、秋のはじまりの植物園で花と実を探しました。

初めての取り組みだった1回目よりも多くの植物を記録することができました。

地面に落ちている実を見つけたときには、親の木（母樹）の位置も確認し、実がどのくらいの範囲まで散らばっているのかも調べました。

実は動物にくっ付いたり、食べられたり、風で飛ばされたりと、様々な形で運ばれます。それぞれの実がどのタイプなのかも考えながら観察しました。

今回はまだ熟していない実が多く、地図では全体的に緑色が目立っています。

秋が深まった11月祭の頃には、様々な色に熟した実が見られることでしょう。

ガイド：坂本三和

[資料](http://ja3yaq.ampr.org/~bgarden/kansatu/kansatu54shiryo01.pdf)

**☆参加者の感想**

* 鳥がどのように実をたべるのかという話がとても興味深かった。自分と同じ大学院生がどんなことを研究しているのかということが聞けたのもよかった。  
  （参加１０回以上、１８～３０才、女性、京大院生）
* 初めて参加させていただいたのですが、私には少しむずかしかったです。植物の名前ぐらいおぼえたかったので、簡単な名でも少しおしえてほしかった。  
  （初めて参加したかた、６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* 始めて見る実、花は知っていても実までわからなかった。又参加したいです。  
  （６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* ネコのチチなどめずらしい秋の実りを見せていただいてたのしうございました。有りがとうございました。又よろしくご指導下さい。  
  （参加５回、６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* はじめて参加しました。けっこうせまい所に、いっぱいの植物で、きわめて多種類でおもしろい場所です。実、種もいっぱいありました。１つ１つくわしくみているともっともっと時間がかかります。楽しく、学生さんたちと回れてよかったです。新しい知識も得られおもしろく、次の観察会に生かしたいと思います。  
  （初めての参加、６０才以上、女性、京都市内のかた）
* バク然としかない知識をしっかり教えていただき、参加する度に感動を覚えます。この続きもぜひ・・・。日時の都合さえつけば次回も参加させていただきます。  
  （参加５回、６０才以上、男性、京大近辺のかた）
* グループの中に大変よくご存知の方がいらして作業もはかどり勉強になりました。何も知らず参加しているのが恥かしいようでした。  
  （６０才以上、女性、京大近辺のかた）
* 春の花の時期は一度にたくさん咲いて同定するのに時間がかかり、消化不良ぎみでした。今回は広い場所を見ることができて満足しています。  
  （参加１０回、３０～６０才、女性、京都市内のかた）
* 北部構内はある程度勝手知ったるものと自負していたのですが、このようなフィールドがあるとは知りませんでした。観察会は初めて参加させていただいたのですが、少人数ということもあり、スタッフの方の話も十分に聞けてよかったです。花の色、葉の形、実の多様さに驚くばかりで、名前を覚えるまでには至りませんでしたが、とても楽しい時間を過ごすことができました。ありがとうございました。  
  （初めての参加、１８～３０才、男性、理学部学部生）
* 秋はどんぐりが多くて楽しめました。  
  （参加１０回以上、１８～３０才、男性、京大昆虫生態のかた）
* 今日は大変面白く植物の名前や成長等の話もして頂き感謝しています。分けて（５組など）植物の観察等もよろしい。  
  （参加１０回以上、６０才以上、男性、京大近辺のかた）
* 本日は観察会は楽しかったです。又、この様な観察会を楽しみにしています。  
  （参加５回、３０～６０才、京都市内のかた）